



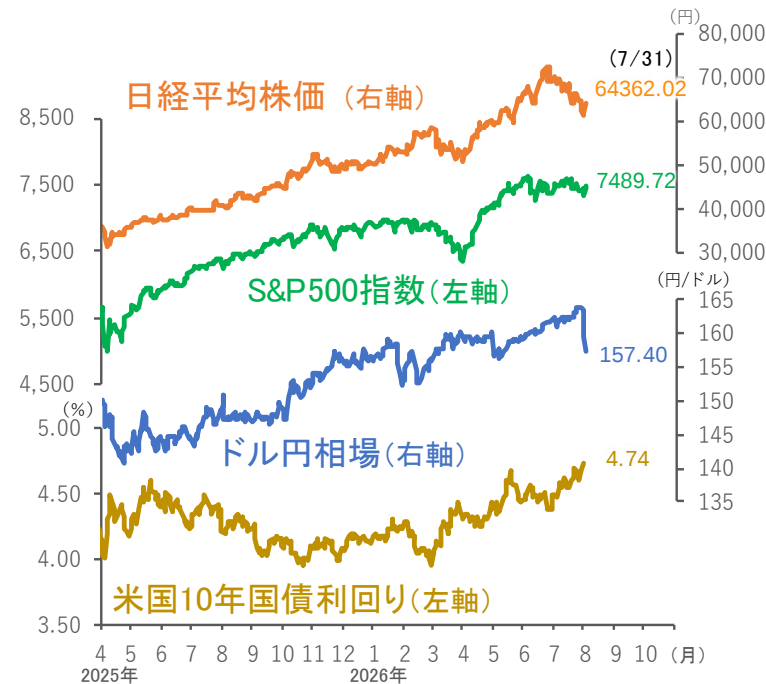
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.8.3

リそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、リそなアセットマネジメント作成

先週は、米・イランの戦闘一時停止で原油価格が反落したことや予想を上回る企業決算を材料に株式市場は総じて上昇しました。S&P500指数は週間で+1.0%、ナスダック総合は同+1.6%、独DAXは+2.1%、日経平均株価は▲0.4%で終わりました。債券市場ではインフレ懸念から長期債を中心に売りが広がり、10年国債利回りは米国が前週末比+6bpの4.74%、独は+3bpの3.21%に上昇、日本は▲1bpの2.81%に低下しました。為替市場では、当局の為替介入で円が急騰し、ドル円は前週末に比べ6円43銭円高・ドル安の157円40銭で引けました。WTI期近は前週末比▲5.2%の84.7ドル/バレルに低下しました。

今週は、米長期金利の動きに注目が集まります。米10年国債利回りは、1年半ぶりの高水準に上昇しています。今週発表の経済・物価統計を受けて利回りが一段高となった場合、米国株など他市場に影響が及ぶことが予想され、注視が必要です。

当面の注目イベント

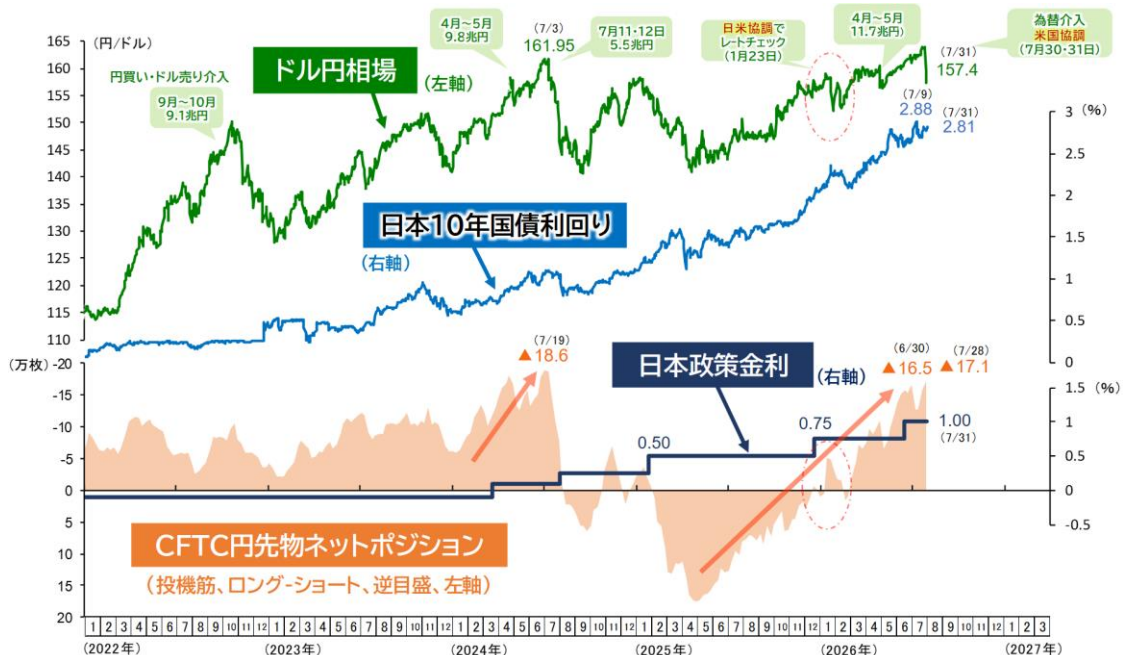
- ★中・7月中国製造業PMI (3日)
- ★米・7月ISM製造業新規受注 (3日)
- ◆米・6月JOLTS(求人件数) (4日)
- ◆7月グローバル総合PMI (5日)
- ◆米・7月雇用統計 (7日)

～世界主要企業4-6月期決算発表～

トヨタ自動車、スペースX(4日)、ホンダ、三井化学(5日)、ソフトバンクG、NTT、任天堂(6日)、フジクラ(7日)

★：リそな景気先行指数関連指標

30・31日に本邦当局の為替介入が実施され、1ドル=157円台まで円が急伸しました。日銀の決定会合(31日)、食品消費減税の方針決定(30日)で円と日本国債が売られ易い地合いになることを見越しての対応とみられます

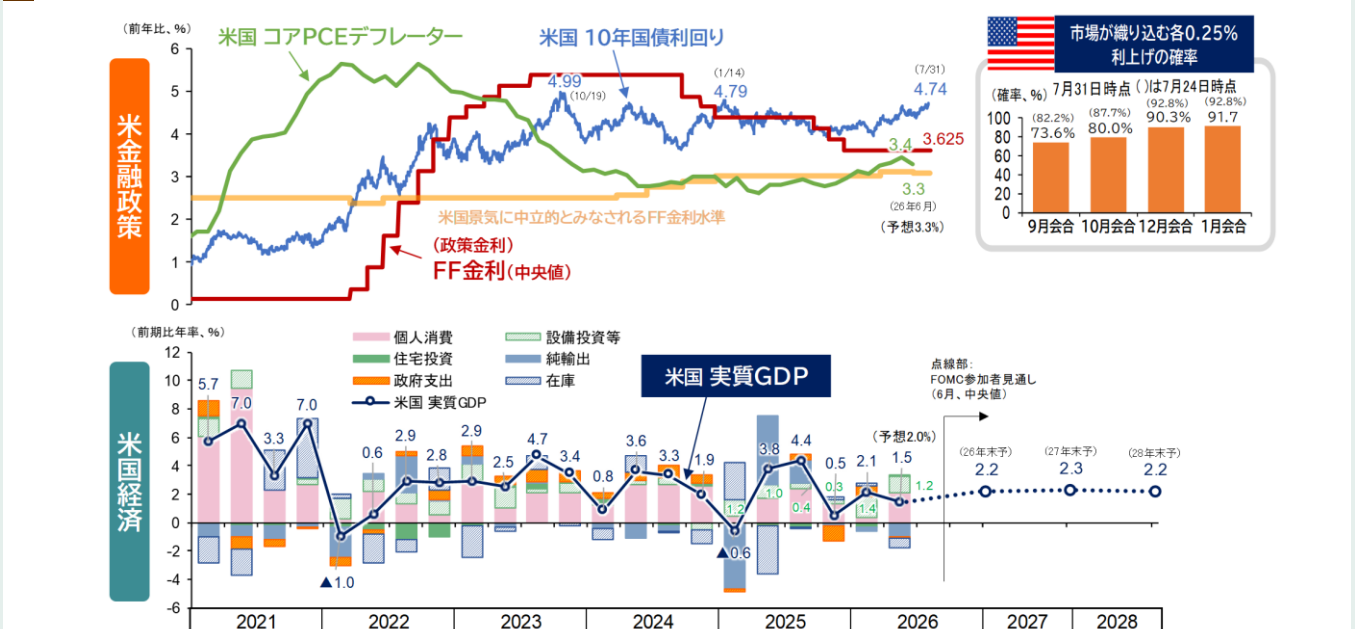


【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、リそなアセットマネジメント作成

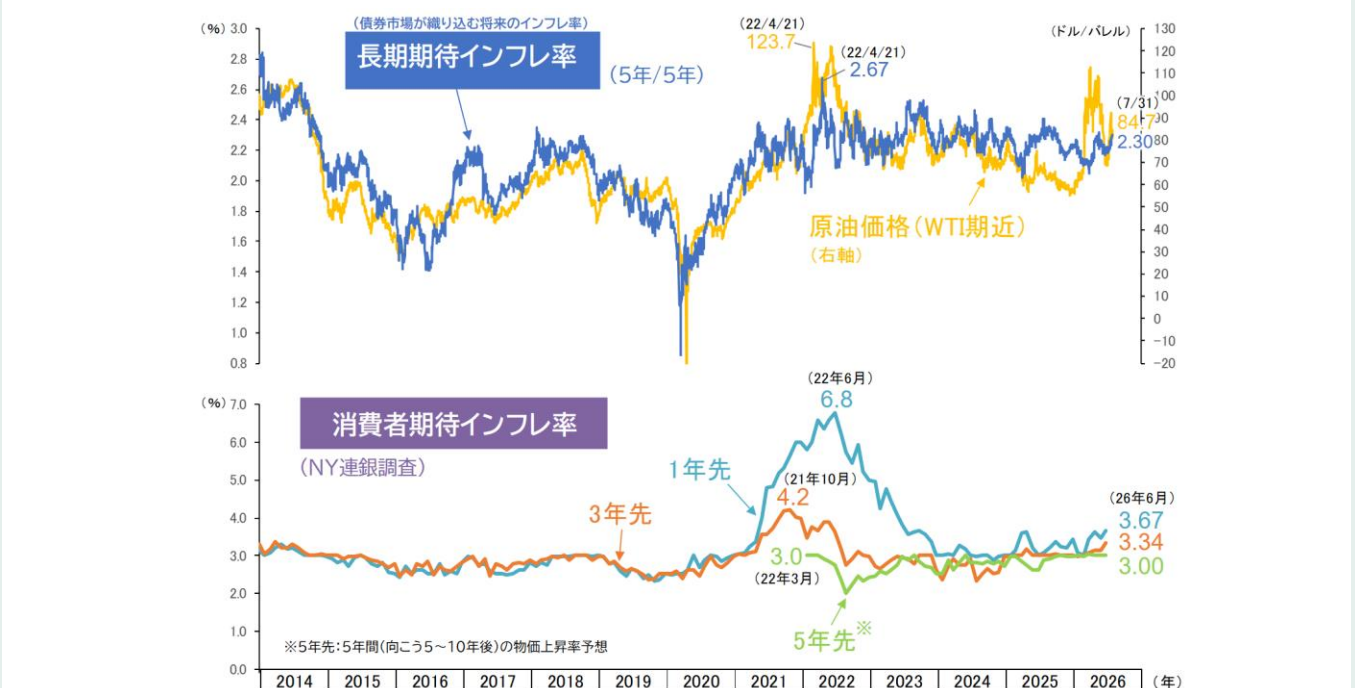
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



リそなアセットマネジメント



【出所】FRB、Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、リソナアセットマネジメント作成



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、リソナアセットマネジメント作成

次回は 2026年8月17日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。